

IT Solution for You!

PCI Holdings, Inc.



PCIホールディングス株式会社

(東証プライム市場：3918＝サンキュー<愛が>いっぱい)

2022年9月期第3四半期決算説明資料

2022.8.9

ステークホルダーの皆様へ

当社は2005年に創業し、IT関連事業を営む連結子会社を傘下に置く**まだ若い純粋持株会社**です。ITをもって「**安心・安全・豊かな社会に貢献する会社**」を目指す、特徴のある企業が4つの事業領域を展開しております。

エンベデッドソリューション事業では、車載関係・**自動運転(AD・ADAS)・EV**等の自動車関連の各種開発案件のほか、スマートフォンに関連する通信制御、重機・建機、デジカメをはじめとする情報家電等の組込みソフトウェアの開発、**VR/ARやAI**等の先端技術開発へのソフトウェア技術提供と研究開発、各種製造・検査機器等への企画・設計・開発・検査・製造・保守の**川上から川下までのワンストップソリューション**を提供しています。

ビジネスソリューション事業では、技術オリエンテッドな事業展開を強みに、金融や流通、製造業等の幅広い業種へのITシステムを提供し、**DX推進**にも貢献しています。

IoT/IoEソリューション事業は、電気通信事業者識別番号「**0067**」をTV応募やアンケート等で活用いただくサービス、LINEスタンプなどモバイルコンテンツを制作・配信する独自ブランド、位置情報を活用した効率的なITサービスの提供など特徴あるICTサービスのほか、サイバーセキュリティ領域へも注力しています。

半導体トータルソリューション事業は、大手半導体メーカー様に対し、LSI設計、テスト、評価等の半導体開発全般のサービスを提供しています。

当社は2020年11月に売上高300億円を目標に掲げた**新中期経営計画「PCI-VISION 2023」**を発表、さらに経営環境の変化に対応すべく2022年4月1付で**代表取締役1名体制から2名体制へと変更**いたしました。

これからも、**M&A戦略**を実行しながら、有言実行でさらなる成長を目指してまいります。引き続きご支援のほど、よろしく願いいたします。



代表取締役会長 天野豊美

目次

エグゼクティブサマリー

1.2022年9月期第3四半期決算報告

2.2022年9月期業績見通しと株主還元

3.中期経営計画「PCI-VISION2023」

4.投資家との対話

5.PCI's SDGs

6.Company Profile

7.Appendix

売上高

18,506百万円

(前期実績 +3,932百万円)
(前年同期比 +27.0%)

営業利益

1,104百万円

(前期実績 +490百万円)
(前年同期比 +79.9%)

親会社株主に帰属する
四半期純利益

690百万円

(前期実績 +353百万円)
(前年同期比 +104.7%)

【事業環境】

DX導入企業の増加によるITインフラ整備・強化、非接触対応等への**優先的なソフトウェア投資傾向**。IT投資需要は底堅く推移。

【実行戦略】

社会全体の急速な**デジタル化・DX化需要**を取り込み、**戦略的かつ積極的な受注活動**に注力。一方で、一部事業において、**世界的な電子部品の供給不足が生産計画に影響**。

【事業成績】

グループ内再編（低採算事業の戦略的縮小）の効果により、親会社株主に帰属する**四半期純利益が前期比大幅増**。

【計画推進】

2022年9月期が2期目となる**中期経営計画「PCI-VISION 2023」**を推進。

2022年9月期
第3四半期決算報告



連結貸借対照表サマリー

- ・流動資産：現金及び預金870百万円、電子記録債権172百万円の減少等で、**前連結会計年度末比757百万円減少**
- ・流動負債：買掛金152百万円、電子記録債務149百万円、未払金149百万円、賞与引当金257百万円の減少等で、
前連結会計年度末比769百万円減少
- ・固定負債：長期借入金654百万円の減少等により、**前連結会計年度末比644百万円減少**
- ・自己資本比率：47.7%（前連結会計年度末は42.8%）

(百万円)	21/9期末	22/9期 3Q
流動資産	11,198	10,440
現預金	3,310	2,439
売上債権	6,085	5,816
その他	1,802	2,184
固定資産	6,193	5,998
有形固定資産	946	933
のれん	2,299	2,196
その他	2,947	2,868
資産合計	17,391	16,439

(百万円)	21/9期末	22/9期 3Q
流動負債	6,505	5,735
仕入債務	2,787	2,484
借入	868	871
その他	2,849	2,379
固定負債	2,935	2,291
借入	1,925	1,270
退職給付に係る負債	135	156
その他	875	863
負債合計	9,441	8,027
純資産合計	7,950	8,412
負債純資産合計	17,391	16,439

連結損益計算書サマリー

(百万円)	21/9期3Q	22/9期3Q	前年同期比
売上高	14,573	18,506	+27.0%
売上総利益	3,831	4,792	+25.1%
(売上総利益率)	26.3%	25.9%	▲0.4pt
販管費	3,217	3,688	+14.6%
営業利益	613	1,104	+79.9%
(営業利益率)	4.2%	6.0%	+1.8pt
経常利益	651	1,173	+80.1%
(経常利益率)	4.5%	6.3%	+1.8pt
親会社株主に帰属する四半期純利益	337	690	+104.7%
(同利益率)	2.3%	3.7%	+1.4pt

(注) 2022年9月期第1四半期より「収益認識に関する会計基準」等を適用しております。

事業別の概況

- エンベデッド : 自動車関連案件が好調に推移した他、カメラ・センサー系開発案件、制御装置案件が増大。ソードが展開する医療向け組込みパソコン、コントローラー及び周辺機器の開発、設計、製造も収益寄与。
- ビジネス : 社会インフラ構築案件、公共事業者向け案件が好調に推移。ソードが展開するキッティング業務等の請負案件も収益寄与
- IoT/IoE : 重機・建機向けIoT開発が堅調に推移。セキュリティ案件も増加。通信事業の売上高は減少。低採算事業の縮小により利益及び利益率が改善。
- 半 導 体 : 既存顧客からの L S I 設計・評価・テスト案件の強い引合いに加え、基板案件の好調が継続し収益に大きく寄与。グループ間及び協業企業との連携による案件も継続受注。

(百万円)	売上高		セグメント利益	
		前年同期比		前年同期比
ITソリューション事業 (A+B)	15,111	+35.0%	797	+87.2%
エンベデッドソリューション (A)	9,057	+64.6%	—	—
ビジネスソリューション (B)	6,053	+6.4%	—	—
IoT/IoEソリューション事業	1,698	▲10.2%	132	+38.8%
半導体トータルソリューション事業	1,752	+15.3%	170	+80.9%
合計	18,506	+27.0%	1,104	+79.9%

(合計には調整額を含む)

2022年9月期
業績見通しと株主還元



当社が手掛ける4つの事業領域

- ・ ソフトウェア開発から半導体事業まで、ソフトとハードにまたがる横断的な4事業を展開
- ・ ソフトとハード、両面に知見・技術力を有するのが当社の強み

ソフト重視

ハード重視

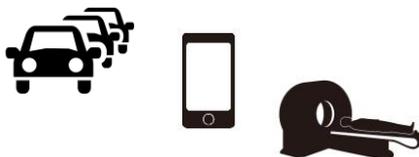
ビジネスソリューション事業



金融、製造業、官公庁系など、社会のインフラを支える幅広い業態のITシステムを構築

■ 関連市場
ソフトウェア開発、DX等、ICT投資全般

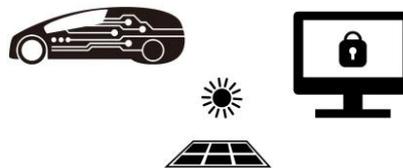
エンベデッドソリューション事業



自動車、情報家電、モバイル端末や医療用MRI等に組み込まれるソフトウェア開発並びにハードウェアの設計・テスト・企画・製造・販売・保守

■ 関連市場
DX、IoT、自動車、半導体、医療等

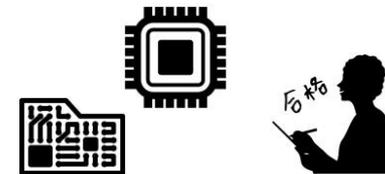
IoT/IoEソリューション事業



自動車業界やエネルギー業界向けのIoTソリューションを開発。位置情報やAR/VR技術の応用も行う

■ 関連市場
IoT、通信、エネルギー、AR/VR等

半導体トータルソリューション事業

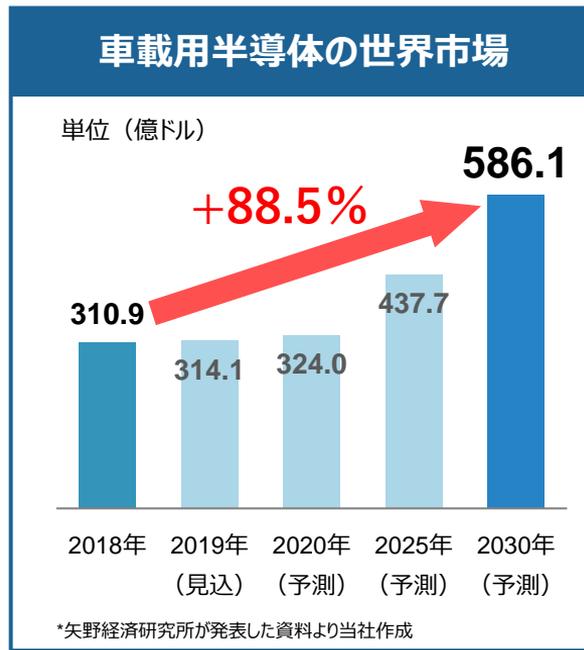
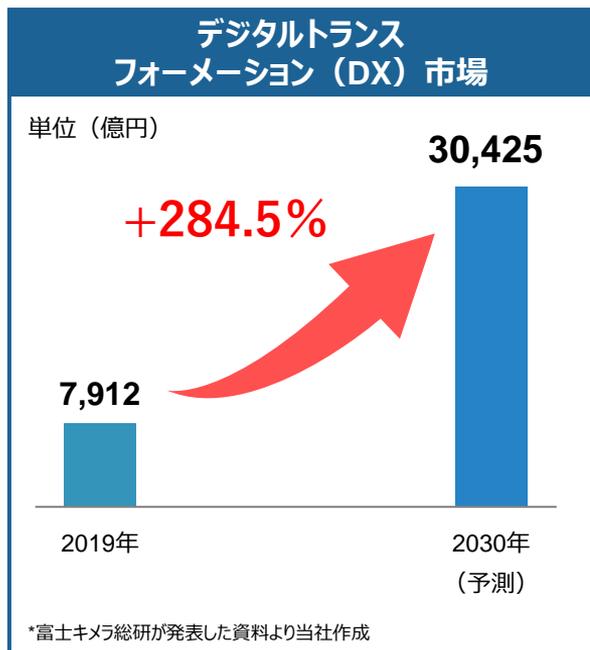


情報社会に必須の半導体分野において、設計からテスト等、開発全般にかかわるサービスを提供

■ 関連市場
半導体、IoT、通信等

事業別マーケット概況

- 社会のデジタル化はコロナ禍により加速し、DX市場は右肩上がりに推移
- 急速なデジタル化やEV化、自動運転の本格化により、車載用半導体などや半導体市場も長期的に好調に推移する見込みであり、ソフトとハード両面の市場が成長ターゲットとなる



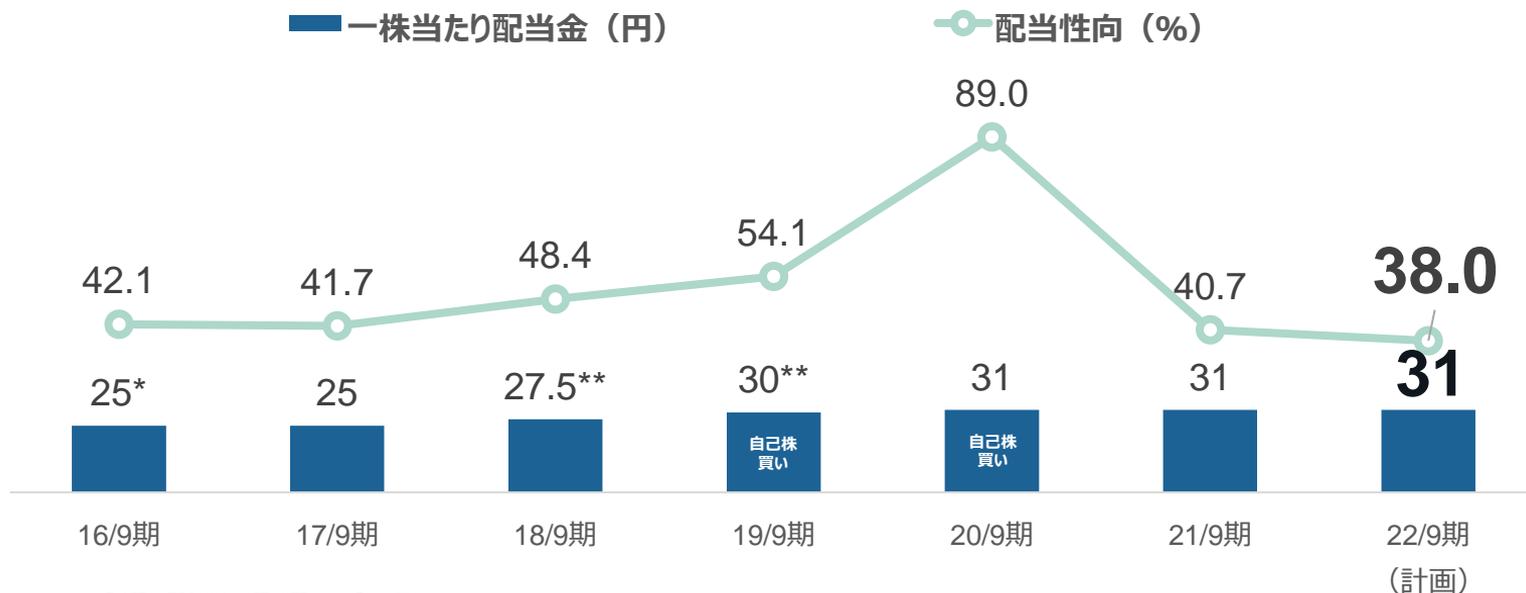
2022年9月期業績予想通期

- 生活様式や働き方の変化、急速に進展するデジタル化・DX化の加速等による企業社会のIT投資は引き続き底堅い需要

(百万円)	21/9期 実績	22/9期 予想	前期比
売上高	21,248	26,500	+24.7%
営業利益	1,174	1,400	+19.2%
(営業利益率)	5.5%	5.3%	-0.2pt
経常利益	1,208	1,420	+17.5%
(経常利益率)	5.7%	5.4%	-0.3pt
親会社株主に帰属する 当期純利益	669	820	+22.4%
(同利益率)	3.2%	3.1%	-0.1pt
EPS	76.12円	81.56円	+7.1%

株主還元について

- 連結配当性向は30%~50%を目安に設定、上場来30%超を維持
- 安定した配当を継続しながら、総合的な還元の向上を目指す



*16/9期は記念配を含む (記念配16/9期: 5円)

**自己株式取得の実績18/9期: 約1.4億円分の取得 19/9期: 約2.3億円分の取得

***2016年4月1日付で1:2、2020年4月1日付で1:2の株式分割を実施、グラフは当該分割を遡及して修正

中期経営計画 「PCI-VISION 2023」



ソフト・ハードを問わず、 顧客のあらゆるITニーズに対応する ワンストップソリューションの確立

エンベデッドソリューション
製品設計・テスト
企画・製造・販売・保守



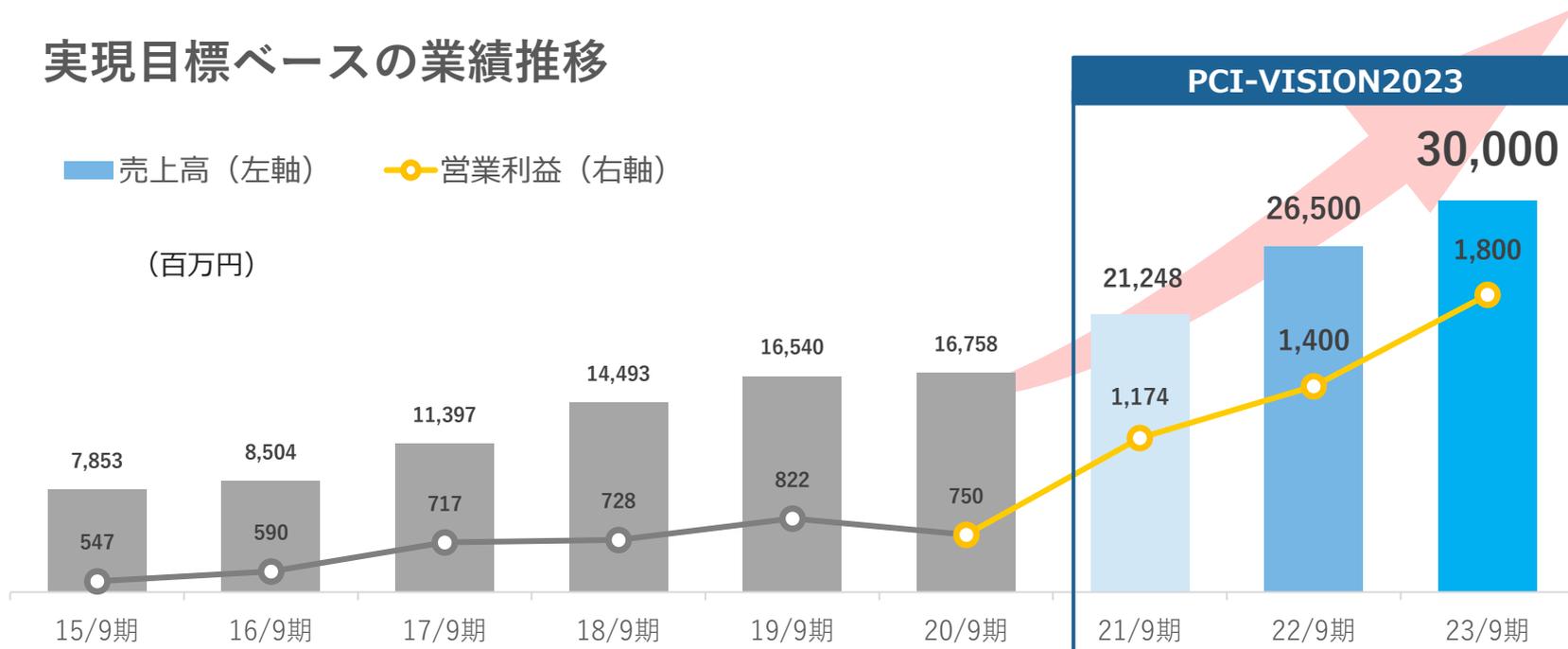
ビジネスソリューション
ITサービス、IoT/IoE
サイバーセキュリティ

M&A、業務提携、顧客ニーズに応える豊富な人財

中期経営計画目標値を挑戦目標から実現目標へ変更

- 目標への挑戦で大きな飛躍へ→売上高300億突破を目指す！
- 2021年1月の株式会社ソードの完全子会社化により、売上高300億円、営業利益18億を「挑戦目標」から「実現目標」へ移行

実現目標ベースの業績推移



中期経営計画「PCI- VISION 2023」定量目標



(百万円)	2021.9 実績	2022.9 計画	2023.9 計画
売上高	21,248	26,500	30,000
営業利益	1,174	1,400	1,800
親会社株主に 帰属する当期利益	669	820	1,050
1株当たり純利益 (円)	76.12	81.56	104.5
ROE	10.7%	10%以上	12%以上
連結配当性向	40.7%	38.0%	30%~50%
連結純資産配当率	4.6%	4.0%以上	

① システムエンジニアリングサービス事業の規模拡大・質的向上

→コロナ禍から需要は回復傾向。スマートシティ事業への参入開始など、デジタル社会の先端案件獲得へ

② 最適な自社ブランド製品/ソリューション/サービスの創出

→AI等、先端技術の深耕およびワンストップソリューション提供体制の確立を進める

③ サイバーセキュリティ関連事業の推進

→「AppGuard®」の拡販、その他ソリューションラインアップの充実へ

④ 業務提携先との更なる連携強化及び積極的なM&Aの推進

→既存提携先との連携強化、および当社事業とシナジー創出が見込まれる企業の発掘、M&Aの推進

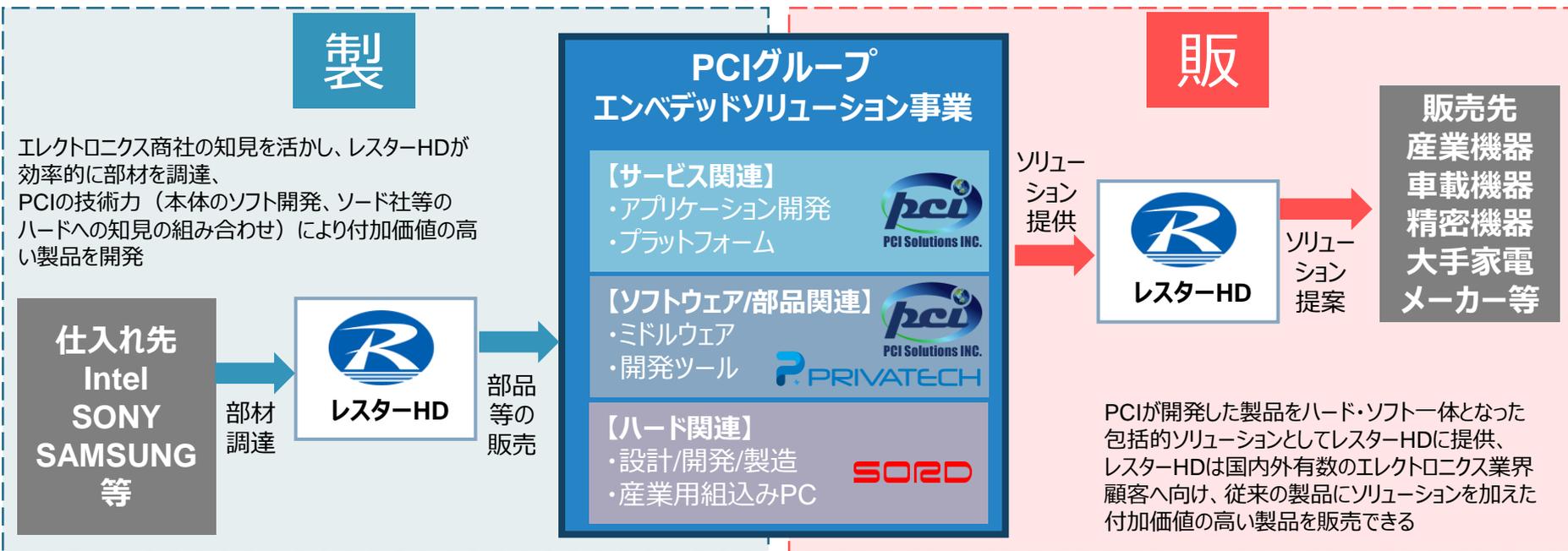
⑤ 組織体制の強化及び働き方改革の推進

→人財採用及び教育の強化とともに、働き方改革を推進

レスターホールディングスとの協業による製販一体構想

- ・ エレクトロニクス商材に強いレスターHDより調達した部材をもとに、当社のソフト・ハードの知見を踏まえた高付加価値の製品を開発、レスターHDと繋がる国内外大手の販売先へ販売することで、**製販一体のワンストップソリューション**が可能となる

レスターHD社との協業により、製販一体のワンストップソリューション提供へ！

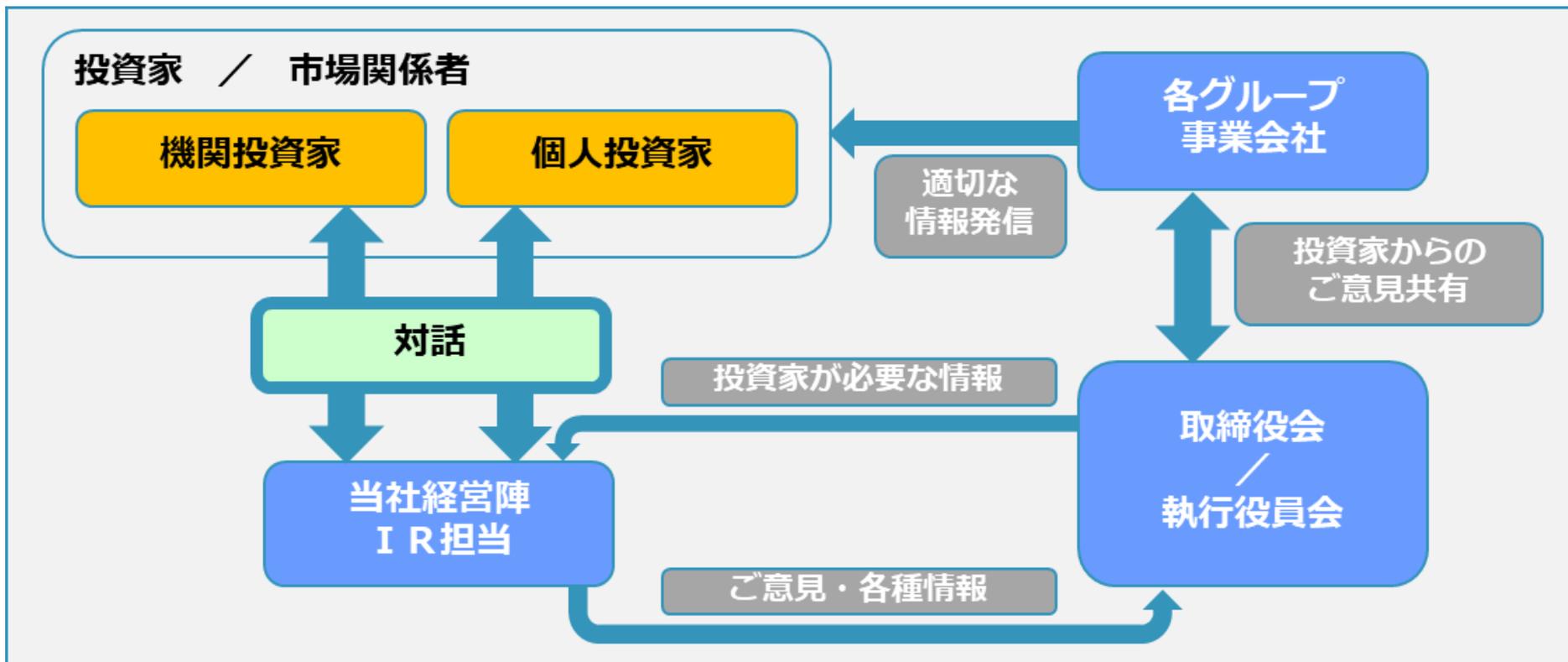


投資家との対話



投資家との対話の推進とフィードバック

IR活動で得られたご意見や情報が、**経営/事業に反映される仕組み**を構築



PCI's SDGs



当社グループの取り組むSDGsの方針

- ・ 当社グループは I T をもって「**安心・安全・豊かな社会**」へ貢献し、事業活動と企業活動の両面から 4 つのテーマで SDGs に取り組みます。

安心・安全・豊かな社会



事業を通じた貢献

企業としての貢献

IoTでつながる社会が
生み出す『安心・安全』

当社グループのネット
ワークを生かした貢献

M&Aを通じた産業と
技術革新の基盤づくり

蓄積された知見の提供
による次世代育成



「安心・安全・豊かな社会」を目指して

- ・「安心・安全・豊かな社会」への貢献を基軸に続けてきた社会活動を、これからも継続します
- ・「2050年カーボンニュートラル」の実現に向けた取り組みを、これからも継続します

CSR

ESG

SDGs

2015

マザーズ上場

2016

東証一部上場

2017

2018

2019

2020

2021

2022

プライム市場移行

2014.5 スポーツ振興、青少年育成

2014.9 国連WFPの支援

2016.1 非常時のアドホック通信ネットワークの活用に関する研究会

2016.12 Dolphin Breeding Projectの支援

2017.2 立教池袋中学校・高等学校数理研究部の活動サポート

2017.3 「熊本城災害復旧支援金」への寄付

2018.10 学生投資連合USIC 主催イベントへの参加・協賛

2021.2 ドローンを活用した太陽電池発電所の
点検業務高度化の実験開始

2021.4 点字名刺プロジェクトの支援

2021.4 OpenVino™*を利用した安心・安全な
サービスに向けたAIによる車両検知開発

2022.4 「有機草堆肥」を軸とした
新プロジェクトへの参画。

農業へのIT活用

*OpenVino™：Intel社が提供するインテルが提供するCPU、内蔵GPU、インテル®FPGA、インテル®Movidius™VPUといったさまざまなハードウェアでディープラーニング推論をより高速に実行するためのソフトウェア開発環境

「安心・安全・豊かな社会」を目指して

・「AIによる車両検知開発」の実用例

当社連結子会社 P C I ソリューションズ（株）が提供する**後方接近車両検知システム**が、
（株）パトライト様のカタログに掲載



高速道路での作業中、接近車両検知・報知に人手を使い危険な他、いち早く作業員を避難させたい。

▶ これで解決!

標識車に後方警戒AIカメラシステムを搭載し危険車両を自動検知、車両搭載のパトライト製サイレンアンプの大音量高警告音＋散光式警告灯の光で作業者のいち早い危険回避行動を促進。

機器構成



高警告サイレン音搭載
電子サイレンアンプ SAP-520型



LED散光式警告灯 ALS型



補助警告灯 LPT型



PCIソリューションズ製
AIカメラシステム一式



https://www.patlite.jp/catalog/vbb03/index_h5.html#8

Company Profile



商号	P C I ホールディングス株式会社 (PCI Holdings, Inc.)	資本金	20億9,189万円 (2021年9月末現在)
設立	2005年4月	売上高 (連結)	21,248百万円 (2021年9月期実績) 26,500百万円 (2022年9月期予想)
上場	東京証券取引所プライム市場 (証券コード: 3918)	営業利益 (連結)	1,174百万円 (2021年9月期実績) 1,400百万円 (2022年9月期予想)
所在地	〒105-0001 東京都港区虎ノ門一丁目21-19	従業員数 (連結)	1,682名 (2022年3月末現在)
代表者	代表取締役会長 天野 豊美 代表取締役社長 横山 邦男	連結子会社	P C I ソリューションズ (株) (株) ソード (株) りーふねっと (株) シー・エル・シー (株) プリバテック

役員体制・拠点一覧

役員体制

役職	氏名	経歴等
代表取締役会長	天野豊美	日本エヌ・シー・アール(株)常務取締役 (株)しんきん情報システムセンター理事
代表取締役社長	横山邦男	(株)三井住友銀行常務執行役員法人部門副責任役員 三井住友DSアセットマネジメント(株)代表取締役社長兼CEO 日本郵便(株)代表取締役社長執行役員社長
常務取締役	堀部保弘	(株)三菱総合研究所執行役員ソリューション事業本部統括室長 P C I ソリューションズ(株)代表取締役
常務取締役	岡丈嗣	(株)りーふねっと代表取締役 一般社団法人 日本ユニファイド通信事業者協会 (JUSA)副会長
取締役	井口直裕	Profit Cube(株)経営企画室長 取締役経営企画本部長
取締役	杉園和也	Profit Cube(株)財務経理室長 取締役管理本部長
社外取締役 (常勤監査等委員)	宮原謙	トランスコスモス(株)システムソリューション本部長取締役
社外取締役 (監査等委員)	佐藤貴則	東京弁護士会副会長 やまぶき法律事務所代表
社外取締役 (監査等委員)	高原明子	三菱商事(株) ウオンテッドリー(株)社外取締役 (監査等委員) (株)ビッドガーデン監査役
社外取締役 (監査等委員)	牧真之介	牧真之介公認会計士事務所代表 税理士法人MSパートナーズ代表社員

P C I グループ拠点



Appendix



2022年7月7日：当社連結子会社（株）プリバテックが展開するクラウド型入退室管理システム「ELMaster（イーエルマスター）」の登録ユーザー数が9万人突破！

『予約から決済までワンストップ』『非接触&キャッシュレス』を特徴に、シェアオフィスやコワーキングスペース等にて運営中。入国規制緩和により利用者数増大が見込まれる「観光施設」「ホテル」「民泊」など様々な施設の利便性向上に活用でき、さらに、クラウド型サービスのため全国からも施設運用可能。



<ELMasterの特徴>

1. ユーザーはWEBで施設を予約・キャンセル。
2. QRコードによる扉の開閉で、鍵の受渡しは一切不要。
3. 入退出実績と連動したキャッシュレス決済で現金の受渡しは一切不要。
4. 電池不要の電子錠採用により、安定した店舗運営と無人化を実現。



利用開始時に利用者及びクレジットカード情報を登録

施設を選んで予約すると携帯端末へQRコード送付

QRコードをかざして入館
(退出時も同様)

使用後は登録したクレジットカードで決済完了

2022年9月期第3四半期末以降のNews Release

2022年7月19日：当社業務提携先である（株）ORENDAが運営する教育プラットフォーム

「**LEVEL BOOST（レベルブースト）**」へ参画。

メタバース・Web3時代を代表するDX人財の育成を加速

PCI NETWORK

Press Release



2022年7月19日

報道関係者各位

PCIホールディングス株式会社
(東証プライム：3918)
株式会社 ORENDA

「地方創生×クリエイター育成」

教育プラットフォーム“LEVEL BOOST”参画のお知らせ
-メタバース・Web3時代を代表するDX人財の育成を加速-

PCIグループは、業務提携先である株式会社 ORENDA（東京都港区、代表取締役 益谷 陽史、以下 ORENDA 社）が運営する教育プラットフォーム「LEVEL BOOST」（レベルブースト）へ参画いたしますのでお知らせします。



LEVEL BOOST



<LEVEL BOOST 概観>



地方在住の
学生ユーザー



2022年9月期第3四半期末以降のNews Release

2022年7月25日：当社連結子会社（株）リーふねっとが展開するSMS配信サービス「FourS Message（フォースメッセージ）」が（株）リンクのクラウド型コールセンターシステム「BIZTEL」と提携を開始
※コールセンターの応答待ちのコールに対してSMSによる新たな対応フローを実現

FourS Message FourS Messageの特長

携帯キャリア直接接続

国内キャリアと直接（直取）接続のため、より確実にSMSを届けられます。

API対応

お客様のシステムとAPI接続によって自動連携し、Web管理画面を介することなくSMSを自動送信することが可能です。

長文対応

通常70文字上限を最大で全角660文字までの送信が可能。
※70文字を超える場合、docomoは66文字、KDDI・楽天は67文字単位で1通分の課金となります。

携帯キャリア追跡

送信先のキャリアを自動で判別します。同一番号でキャリアが変わった場合も変更を自動で認識し送信結果に反映されます。

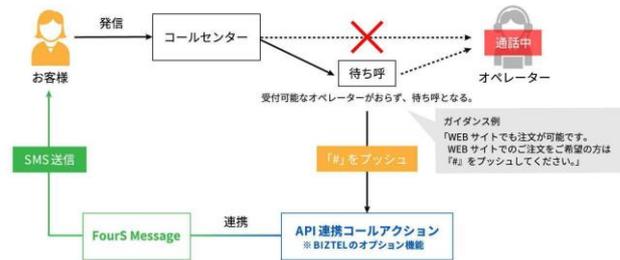
短縮URL

長いURLを20文字の短縮URLへと変換することができます。また、短縮URLのクリック数を確認することも可能です。

業界最安値

1通あたり～8円と、SMS配信サービスの中では業界最安値水準で高品質なサービスをご提供します。

対応フローのイメージ



送信メッセージの例



※「FourS Message」：4つのS（STABLE/安定している、SECURE/安全である、SPEEDY/迅速である、SUSTAINABLE/持続可能である）を特長とするSMS（ショートメッセージ）配信サービス。各携帯キャリアの通信網と直接接続することで、セキュアな環境から安定して配信できることに加え、一括配信や配信予約の設定、着信状況（送信完了・圏外・電源offなど）の把握、短縮URLの挿入・クリック計測など、顧客とのコミュニケーションをサポートするさまざまな機能が利用可能。

YouTubeチャンネル「PCI NETWORK」



自社スタッフが制作・配信するYouTubeチャンネル。
IRリリースの背景や事業内容、Q&Aやトピックスを紹介しております。



チャンネル登録、
ご視聴はこちら
[>> チャンネルへ](#)



本資料のいかなる情報も、弊社株式購入や売却などを勧誘するものではありません。

本資料に記載されている業績予想及び将来の予測等に関する記述は、
資料作成時点での入手された情報に基づき弊社で判断した予想であり
潜在的なリスクや不確実性が含まれております。

従いまして、実際の業績は様々な要因により、これらの業績予想とは異なることがありますことをご承知おき下さい。万が一この情報に基づいて被ったいかなる損害についても、弊社および情報提供者は一切責任を負いかねますのでご承知おき下さい。

＜お問い合わせ先＞

PCI ホールディングス株式会社 IR・広報室（阿部）
E-mail : ir@pci-h.co.jp / 電話 : 03-6858-0536
受付時間 : 9:00～17:00（土・日・祝祭日除く）

IR動画はこちら→
（または[コチラ](#)をクリック）



Positively, Change, Innovate

～積極的に、変化と革新をし続ける～

